

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 / 本科	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / 英語表現 I	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	My name is Tanaka Kaito. Nice to meet you. How did you get interested in Japan? I'm planning to go to Nagano this summer. Have you ever seen a live soccer game?	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館) / Workbook 24 (啓林館) / Vision Quest Ultimate (総合英語) / 英単語ターゲット 1900 (旺文社) / 英熟語ターゲット 1000 (旺文社)
Unit Description 単元の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を文型、時制、完了形を用いながら、伝える能力を養う。		

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3 ・語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 ・言語活動を通じ、場面に応じて適切な表現を使うことができる。 ・第2言語習得への目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	B3 ・与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ・自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 ・新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ・動詞、文型、時制、完了形の用法を適切に用いて、自分の考えを伝える。 ・相手の意見に対して、肯定をしたり、聞き取れなかったりした時の表現をコミュニケーションの中で使用する。	B3 ・自分の興味・関心のあるものを論理的に話し、他者と考えを共有する。	C3
好	A2 ・語彙・文法を適切に用いることができる。 ・母語と第2言語との違いを理解する。 ・特定の分野において自ら関心を持ち、学習に繋げることができる。	B2 ・論理的な思考に必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。 ・文脈に応じて他者の意見・心情を客観的に理解する。	C2 ・グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティーを形成する。	A2 ・動詞、文型、時制、完了形の用法を適切に用いて、表現する。 ・相づちを打ったり、聞き直したりするときの表現を理解する。	B2 ・日常生活で行っていることを論理的に説明する ・自分の身の回りにあるものを論理的に説明する。	C2
知	A1 ・言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 ・第2言語の構造を理解することができる。 ・与えられた課題に主体的に取り組むことができる。	B1 ・論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 ・第2言語の文章の構成法を理解する。	C1 ・自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解したうえで、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ・動詞、文型、時制、完了形の用法を理解する。	B1 ・適切な動詞を用いて自己を表現する。	C1 ・自分の関心のあるものに関して、トピックを決めて、発表する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 課題提出、課題テスト、英単語テスト、英熟語テスト、定期考査 <ICT>
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 / 本科	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / 英語表現 I	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	Can you help me with this plate? The Sapporo Liac Festival will be held next week.	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館) / Workbook 24 (啓林館) / Vision Quest Ultimate (総合英語) / 英単語ターゲット 1900 (旺文社) / 英熟語ターゲット 1000 (旺文社)
------------------------------	---	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を助動詞、受動態を用いながら、伝える能力を養う。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
察	A3 ・語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 ・言語活動を通じ、場面に応じて適切な表現を使うことができる。 ・第2言語習得への目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	B3 ・与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ・自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 ・新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ・好きな映画や本などについて自らの考えや意見を発信し、意見を交換する。	B3 ・観光名所を調べ、なぜその場所が観光客に人気があるのか論理的に説明し、他者と共有する。	C3
好	A2 ・語彙・文法を適切に用いることができる。 ・母語と第2言語との違いを理解する。 ・特定の分野において自ら関心を持ち、学習に繋げることができる。	B2 ・論理的な思考に必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。 ・文脈に応じて他者の意見・心情を客観的に理解する。	C2 ・グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ・助動詞や受動態の用法を用いて、能力・許可・義務・禁止・推量などを表現する。 ・許可を求めたり、相手に依頼をしたりする表現を使用する。 ・学校の規則を助動詞を使ってまとめる。	B2 ・驚愕したことに関して心情や自分の意見を論理的に説明する。	C2
知	A1 ・言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 ・第2言語の構造を理解することができる。 ・与えられた課題に主体的に取り組むことができる。	B1 ・論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 ・第2言語の文章の構成法を理解する。	C1 ・自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解したうえで、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ・助動詞、受動態の用法を理解する。 ・感情を表わす表現を理解する。 ・数字の表現を理解する。	B1 ・過去の習慣や経験を振り返り、どのように改善していくべきか論理的に説明する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法>課題提出、課題テスト、英単語テスト、英熟語テスト、定期考査 <ICT>
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 / 本科	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / 英語表現 I	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	Thank you for coming to my birthday party. How about going to a movie this afternoon	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館) / Workbook 24 (啓林館) / Vision Quest Ultimate (総合英語) / 英単語ターゲット 1900 (旺文社) / 英熟語ターゲット 1000 (旺文社)
Unit Description 単元の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を不定詞、動名詞を用いながら、伝える能力を養う。		

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ・語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 ・言語活動を通じ、場面に応じて適切な表現を使うことができる。 ・第2言語習得への目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	B3 ・与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ・自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 ・新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ・不定詞、動名詞の用法を適切に用いて、自分の将来の夢を語る。 ・不定詞、動名詞の用法を適切に用いて日常生活の中で大切にしていることを他者と共有する。	B3 ・将来の目標について他者と考えを共有し、多様な価値観を認め合う。	C3
好	A2 ・語彙・文法を適切に用いることができる。 ・母語と第2言語との違いを理解する。 ・特定の分野において自ら関心を持ち、学習に繋げることができる。	B2 ・論理的な思考に必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。 ・文脈に応じて他者の意見・心情を客観的に理解する。	C2 ・グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ・不定詞、動名詞の用法を適切に用いて、表現する。 ・感謝をしたり、謝罪をしたりするときの表現を使用する。	B2 ・将来の目標について論理的に表現する。	C2
知	A1 ・言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 ・第2言語の構造を理解することができる。 ・与えられた課題に主体的に取り組むことができる。	B1 ・論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 ・第2言語の文章の構成法を理解する。	C1 ・自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解したうえで、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ・不定詞、動名詞の用法を理解する。 ・感謝をしたり、謝罪をしたりするときの表現を理解する。	B1 ・自分や家族が得意なことについて論理的に表現する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法>課題提出、課題テスト、英単語テスト、英熟語テスト、定期考査 <ICT>
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 / 本科	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / 英語表現 I	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	Rules are for everyone's comfort and safety. Things vary from culture to culture.	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館) / Workbook 24 (啓林館) / Vision Quest Ultimate (総合英語) / 英単語ターゲット 1900 (旺文社) / 英熟語ターゲット 1000 (旺文社)
Unit Description 単元の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を分詞、関係詞を用いながら、伝える能力を養う。		

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容				
楽 好 知	A3 ・語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 ・言語活動を通じ、場面に応じて適切な表現を使うことができる。 ・第2言語習得への目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	B3 ・与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ・自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 ・新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ・分詞、関係代名詞の用法を適切に用いて、学校に制服を導入することに対して賛成、反対意見を述べる。 ・分詞、関係代名詞の用法を適切に用いて日常生活の中で大切にしていることを他者と共有する。	B3 ・自分の住んでみたい国や町についてディスカッションをし、他者の意見や考えを理解する。	C3		
	A2 ・語彙・文法を適切に用いることができる。 ・母語と第2言語との違いを理解する。 ・特定の分野において自ら関心を持ち、学習に繋げることができる。	B2 ・論理的な思考に必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。 ・文脈に応じて他者の意見・心情を客観的に理解する。	C2 ・グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ・分詞、関係題名詞の用法を適切に用いて、表現する。 ・感謝をしたり、謝罪をしたりするときの表現を使用する。	B2 ・自分の住んでみたい国や町について論理的に説明をする。	C2		
	A1 ・言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 ・第2言語の構造を理解することができる。 ・与えられた課題に主体的に取り組むことができる。	B1 ・論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 ・第2言語の文章の構成法を理解する。	C1 ・自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解したうえで、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ・分詞、関係代名詞の用法を理解する。 ・他人の意見に賛成したり、反対したりする表現を理解する。	B1 ・自分が必要としていることについて論理的に説明する。	C1 ・日本の文化や歴史表の人物について他国との相違や共通点を理解し、国際的な視野を広げる。		
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking					

Others 備考	<評価方法>課題提出、課題テスト、英単語テスト、英熟語テスト、定期考査 <ICT>
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 / 本科	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / 英語表現 I	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

3 学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	I believe everything has positive side. I wish my father were more understanding.	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館) / Workbook 24 (啓林館) / Vision Quest Ultimate (総合英語) / 英単語ターゲット 1900 (旺文社) / 英熟語ターゲット 1000 (旺文社)
Unit Description 単元の概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を比較、仮定法を用いながら、伝える能力を養う。		

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽 好 知	A3 ・語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 ・言語活動を通じ、場面に応じて適切な表現を使うことができる。 ・第2言語習得への目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	B3 ・与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ・自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 ・新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ・比較級の用法を適切に用いて、本と映画を比較する文章を書く。 ・仮定法の用法を使って、様々な文章を英語で表現する。	B3 ・日本の社会問題についてグループでディスカッションを行い、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張する。	C3
	A2 ・語彙・文法を適切に用いることができる。 ・母語と第2言語との違いを理解する。 ・特定の分野において自ら関心を持ち、学習に繋げることができる。	B2 ・論理的な思考に必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。 ・文脈に応じて他者の意見・心情を客観的に理解する。	C2 ・グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ・比較級、仮定法の用法を適切に用いて、表現する。 ・自分の意見を効果的に述べる表現を使用する。	B2 ・日本の少子化の原因や解決策に関して、自らの考えを述べる。	C2
	A1 ・言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 ・第2言語の構造を理解することができる。 ・与えられた課題に主体的に取り組むことができる。	B1 ・論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 ・第2言語の文章の構成法を理解する。	C1 ・自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解したうえで、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ・比較級、仮定法の用法を理解する。 ・自分の意見を効果的に述べる方法を理解する。	B1 ・日本の少子化について論理的に説明する。	C1 ・日本と海外の社会問題について共通点や相違点を考え、その原因をさぐり、国際的な視野で物事を考える。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法>課題提出、課題テスト、英単語テスト、英熟語テスト、定期考査 <ICT>
--------------	--